

| | | | | |
|-------------------------|--|-----|--------|---|
| 平成 28 年度認定 | | | |  |
| 氏 名 | てらかわ よしひろ 寺川 義浩 | | | |
| 生 年 月 日 | 昭和 35 年生 | 住 所 | 大阪府八尾市 | |
| 品 目 | 八尾若ごぼう等（やおわかごぼうとう） （八尾若ごぼう） ・ 正式には「葉ごぼう」、葉・茎・根を全て食べられ、食物繊維やミネラルが多い ・ ハウスと露地で栽培され収穫時期は2月～3月、八尾市では春を告げる野菜 ・ 大阪府では泉州水ナスに次いで平成 25 年に地域団体商標登録 （八尾えだまめ） ・ 昭和 30 年までのイチゴ産地から枝豆栽培にシフト ・ 収穫後にうまみ成分が急減するため大消費地を背後地とする八尾では有利な作物 ・ ハウスと露地で栽培し、5月末から9月下旬まで出荷 | | | |
| 技 術 | 米ぬか施肥による環境保全的な八尾若ごぼう等の野菜生産 ・ 家業の米穀販売で生じる米ぬかを用いて圃場の土壌を肥沃化 ・ 米ぬか施肥による農薬施用の抑制と耕種的防除により良食味の野菜を生産培 | | | |
| 活 動 状 況 | ・ 昭和 53 年に高校卒業後に家業の米穀店と農業を継承 ・ 田畑計 50a（水田 30a、若ごぼう・えだまめ 15a、直売向け野菜 5a）を経営 ・ 若ごぼう部会の会議（年3回）で情報共有を行い、栽培技術を向上 ・ JA関係者の視察受入、掘り取り体験の実施、 ・ 学校給食に若ごぼうを提供し、播種から収穫まで写真付で学校給食のHPに掲載 ・ JA 大阪河内とセブンイレブンの若ごぼうを使用した期間限定おにぎりと丼に若ごぼうを出荷、ブランド強化に努める。 ・ 新型コロナウイルスのため、枝豆の収穫体験が参加者には手渡しとなった。 | | | |
| 相 談 に 応じられる 分野・内容 | ・ 若ごぼう、えだまめ、その他野菜の栽培技術 ・ 農業関係者の視察受入 ・ 食育の一環としての掘り取り体験、学校給食への取り組み | | | |
| 受 賞 歴 等 | ・ | | | |
| 主 な 役 職 | ・ 平成 23 年 ～ JA 大阪河内八尾地区総代 ・ 令和元年 1 月～ JA 八尾えだまめ生産者部会 会長 ・ 令和元年 12 月～ 教興寺区画営農組合 組合長 ・ 令和 2 年 4 月～ 八尾えだまめ生産者部会 会長 | | | |
| H P | | | | |

